

FortiMail

FortiMail 200E、200F、400E、400F、900F、1000D、2000E、3000E、3200E、VM

FortiMail は、ボリュームベースで標的型サイバー攻撃を阻止する、トップクラスのセキュアEメールゲートウェイです。エンタープライズ環境の常に変化する攻撃対象を保護し、機密データの漏洩を食い止め、コンプライアンスの維持を支援します。高性能の物理アプライアンスと仮想アプライアンスをオンサイトまたはパブリッククラウドに導入することで、小規模企業からキャリア、サービスプロバイダ、大企業まで、あらゆる規模のユーザーに対応します。



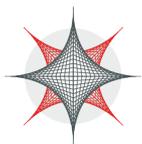
標的型攻撃対策

強力なアンチスパムおよびアンチマルウェア機能、さらにそれらを補完するアウトブレイク防止、コンテンツ無害化、サンドボックスによる分析、なりすまし検知などの先進技術により、不要な一斉送信メール、ランサムウェア、ビジネスメール詐欺を防止し、標的型攻撃を回避します。



データ保護

堅牢なデータ漏洩対策、IDベースのEメール暗号化、およびアーカイブ機能が機密情報の偶発的な漏洩を防ぎ、社内や業界の法規制へのコンプライアンスの維持を支援します。



セキュリティファブリック統合

フォーティネット製品だけでなく、サードパーティ製コンポーネントとも統合することによって、シームレスなセキュリティファブリック全体でIOC (Indicators of Compromise: 侵害指標) を共有し、プロアクティブなセキュリティ対策が導入できます。



導入モード

トランスペアレント
メールゲートウェイ
フル機能搭載メールサーバー



FortiCare Worldwide Support

support.fortinet.com



FortiGuard Security Services

www.fortiguard.com

第三者機関の認定



主な機能

多層型スパム対策

複数の技術を活用して、送信者、プロトコル、コンテンツを検査し、ネットワークとユーザーを不要な一斉送信メールから保護します。IP、ドメイン、その他のレピュテーションを最初に評価し、パウンス、認証、受信者の検証などのさまざまな評価方法に加えて、DMARC、DKIM、および SPF のチェックも実行します。最後に、デジタル署名、コンテキストのキーワード、画像分析、本文に含まれる URI に基づく分析、さらには、挙動分析やスパムアウトブレイク保護などの高度な技術を活用した分析によって、メッセージの構造と内容が検査されます。これらの技術の連携により、実環境の条件下で 99.98% のスパムを特定し、ブロックします。

統合型のデータ保護

データ漏洩対策、Eメールの暗号化、Eメールのアーカイブなどの機能を利用することで、機密データが含まれるEメールを確実に保護し、偶発的なデータ漏洩を防ぎます。このような機能により、企業ポリシーや業界規制のコンプライアンスが容易になります。

直感的な E メール管理

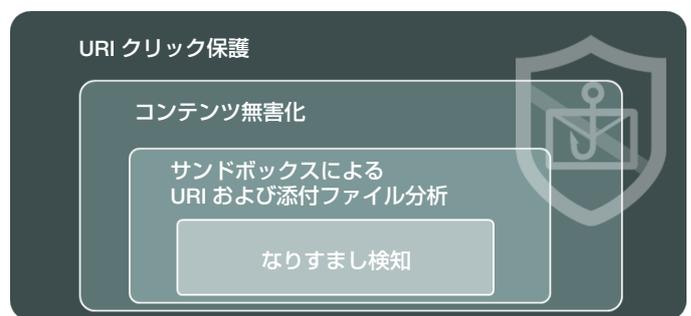
リアルタイムのダッシュボード、豊富なレポート機能、集中隔離機能、エンドユーザーの制御と MTA および Eメール処理のフル機能によって、Eメールのトラフィックの完全な可視化と容易な制御が可能になります。

強力なマルウェア対策

FortiMail は、シグネチャ、ヒューリスティック、挙動などの複数の静的 / 動的テクノロジーを活用し、オプションのウイルスアウトブレイク防止機能を利用することで、常に進化するさまざまな脅威からの保護を可能にします。

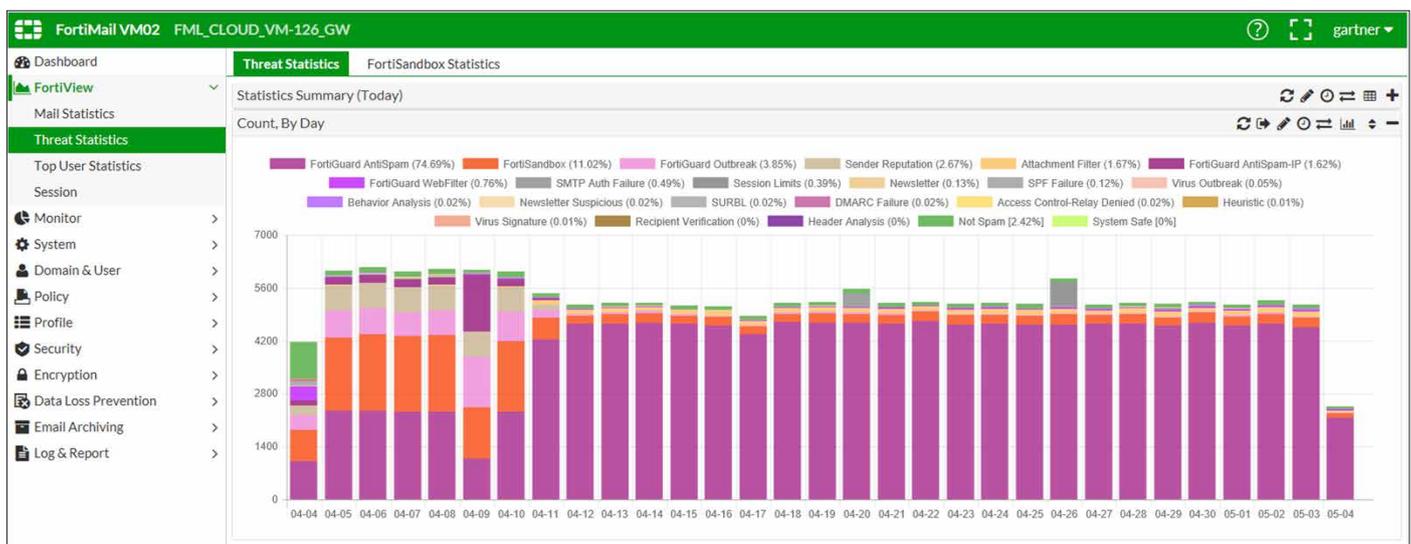
高度な脅威保護

ビジネスメール詐欺や標的型攻撃など、ごく最近猛威を振るう脅威に対抗するために、FortiMail はコンテンツ無害化、サンドボックスによる分析、高度な偽装検知など、さらに強力な防御機能をオプションで追加することができます。



高性能、柔軟な導入

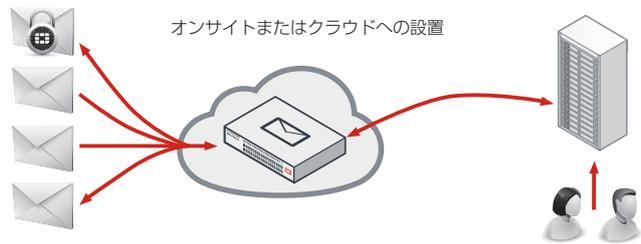
FortiMail は、毎時 150 万件以上のメッセージのアンチスパム / アンチマルウェアフィルタリングに対応し、ゲートウェイ、トランスペアレント、またはサーバーのいずれかのモードを選択できるため、あらゆる規模の組織でご利用いただけます。



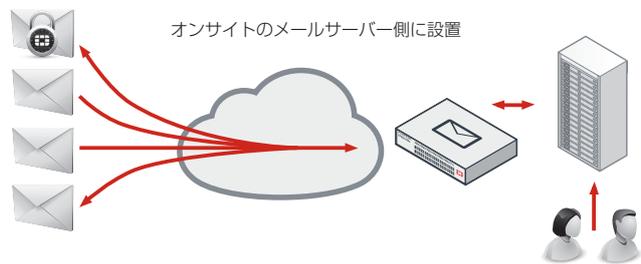
導入オプション

FortiMail は、トランスペアレント、ゲートウェイ、またはサーバーの各モードを選択して設置できるため、組織固有のメッセージングセキュリティ要件を満たし、インフラの変更やサービスの中断を最小限に留めることが可能です。

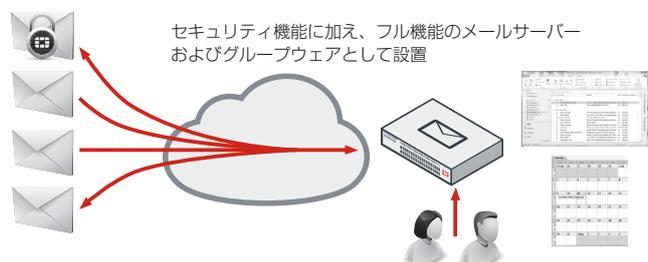
ゲートウェイモード：既存の E メールゲートウェイに対してインバウンドおよびアウトバウンドのプロキシメールトランスファーエージェント (MTA) サービスを提供します。シンプルな DNS MX レコード変更機能によって E メールが FortiMail にリダイレクトされ、そこでアンチスパム / アンチウイルススキャンが実行されます。FortiMail ユニットの、メッセージを受信してウイルスやスパムがないかどうかをスキャンしてから、E メールを宛先の E メールサーバーへと中継します。



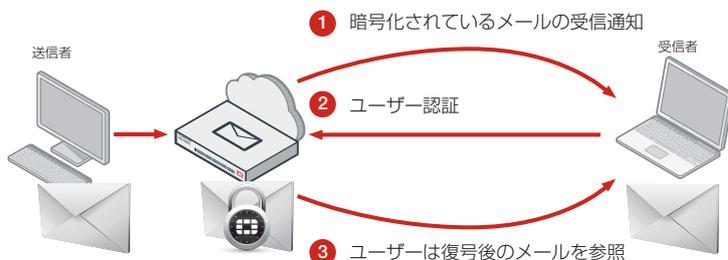
トランスペアレントモード：各ネットワークインタフェースに、E メールを受信および中継するプロキシが含まれます。各プロキシは、宛先 IP が FortiMail アプライアンスでなくても SMTP セッションをインターセプトできます。FortiMail はウイルスやスパムがないかどうかをスキャンしてから、E メールを宛先の E メールサーバーへと転送します。DNS MX レコードを変更したり、既存のネットワーク構成を変更したりする必要がありません。



サーバーモード：FortiMail ユニットのスタンドアロンメッセージングサーバーとして動作し、セキュアな POP3、IMAP、および Web メールアクセスを柔軟にサポートする、SMTP メールサーバーのフル機能を提供します。メッセージを受信すると、ウイルスやスパムがないかどうかをスキャンしてから、Eメールユーザーのメールボックスに送信します。サーバーモードの FortiMail ユニットの保護されたサーバー自身として機能するため、外部の MTA が FortiMail サーバーに接続します。



ID ベース暗号 (IBE: Identity Based Encryption) により、追加ライセンス料金なしで、機密または規制対象の E メールを自動的にセキュアに配信します。暗号化した添付ファイルとパスワードを別のメールで送る必要がなくなり、ユーザーの利便性が向上します。



ポリシーベースの暗号：自動的にメッセージを暗号化するポリシーを作成することで、ユーザーが意識することなく、安全にメールを送信できます。

プッシュまたはプルモード：プッシュ、プル、またはその併用の各モードを用いて、各組織のセキュリティ要件を満たすことができます。

導入、使用、管理が容易：トランスペアレントを含めた任意の展開モードで ID ベース暗号を実装できます。ユーザープロビジョニングを実施したりハードウェアまたはソフトウェアを追加したりする必要は一切ありません。

主な機能

システム

多様な導入オプション：
 - トランスペアレント、ゲートウェイ、サーバーモード
 - オンプレミス、パブリック/プライベートクラウドへの導入に対応
 - クラウド管理型サービス

インバウンド、アウトバウンドスキャン

複数の E メールドメインをサポートし、ドメイン別のカスタマイズも可能：
 - MSSP のマルチテナントをサポートし、自社ブランドによる提供も可能
 - 多層型管理

IPv4、IPv6 アドレスのサポート

送信元や宛先に関する IP アドレスのプールを用いた仮想ホスティング

LDAP、RADIUS、POP3、または IMAP による SMTP 認証

LDAP ベースの E メールルーティング

ポリシー（ドメイン）単位の LDAP 属性を用いた、ユーザー単位のスキャン

サーバーモードの展開と隔離メール管理のための、分かりやすい Web メール画面
 メールキュー管理

Web メールと管理画面の多言語対応

SMTP RFC 標準のコンプライアンス

最先端の HTML 5 GUI

VBS spam、NSS、ICSA、SE Labs による第三者テスト済

Office 365、Google G-Suite などのクラウドサービスとの互換性確保

アンチスパム

FortiGuard アンチスパムサービス
 - グローバルセンターレピュテーション
 - スпамオブジェクトチェックサム
 - ダイナミックヒューリスティックルール

リアルタイムのスパムアウトブレイク防止

全カテゴリの FortiGuard URL フィルタリング
 - スпам、マルウェア、フィッシングメール URL など
 - 新規登録ドメイン

ビジネスメール詐欺（BEC）：
 - 複数段階のアンチスプーフィング保護
 - なりすまし分析

IPv4、IPv6 アドレスと E メールアカウントのグレーリストリング

ローカルセンターレピュテーション（IPv4、IPv6、エンドポイント ID ベース）

ビヘイビア（ふるまい）分析

ディープ E メールヘッダーインスペクション

サードパーティのスパム URI とリアルタイムブラックリスト（SURBL / RBL）

ニュースレター（グレイメール）および不審なニュースレターの検知

グローバル、ドメインおよびユーザーレベルのブラック/ホワイトリスト

エンタープライズ向けの送信ドメイン認証技術のサポート：

- Sender Policy Framework（SPF）
 - Domain Keys Identified Mail（DKIM）
 - Domain-Based Message Authentication（DMARC）

柔軟なアクションと通知プロファイル

複数システム / ユーザー毎のセルフサービスによる隔離

マルウェア対策

FortiGuard アンチウイルス検知
 - CPRL シグネチャチェック
 - ヒューリスティックベースのビヘイビア（ふるまい）検知
 - グレイウェア検知

FortiGuard ウイルスアウトブレイク防止：
 - グローバルな脅威インテリジェンスおよびデータ分析

アクティブなコンテンツ検知（PDF および Office 形式ドキュメント）

隔離解除時の脅威の再スキャン実行

カスタムファイルハッシュのチェック

標的型攻撃に対する保護

コンテンツ無害化 / 無効化：
 - Office / PDF ドキュメントの無害化（マクロ、アクティブコンテンツ、添付ファイルの削除など）
 - Eメールの HTML コンテンツ無害化
 - URL ハイパーリンクの削除
 - URL のリライト

URL のクリックを保護し、URL のリライトとアクセス時の再スキャンを実行
 なりすまし分析：なりすまし検知の手動 / 自動実行

オンプレミス / クラウドのサンドボックス統合により、ファイル / URL の分析をサポート

コンテンツ検知

MIME / ファイルタイプの検知

ファイルのフィンガープリントチェックや機密データの検知による包括的なデータ漏えい対策：

- 自動 Windows ファイル共有およびマニュアルアップロードによるファイルのフィンガープリントチェック
 - 医療、財務、個人を特定する情報、不適切な言葉の検知

ビルトイン / 管理者定義によるパスワードリストと、メール本文の単語検知による、アーカイブ、PDF、Office ドキュメントの自動復号

PDF スキャン、イメージ分析

動的な成人向け画像分析サービス：

- 成人向けコンテンツの特定とレポート、送信ブロック

管理、ログ、レポート

ベーシック / アドバンスド管理モード

ドメイン単位のロールベースの管理者アカウント

アクティビティ、構成の変更やインシデントの広範なログとレポート

レポートモジュール内蔵

大規模な導入にも対応する集中隔離機能

FortiAnalyzer を利用したログとレポートの集約

しきい値ベーストラップによる標準 / プライベート MIB を利用した SNMP サポート

iSCSI デバイスを含む、外部またはローカルストレージサーバーのサポート

外部 Syslog サーバーのサポート

構成 / 管理用オープン REST API

高可用性（HA）

あらゆる導入形態で高可用性をサポート：

- アクティブ - パッシブモード
 - アクティブ - アクティブ構成同期モード

隔離およびメールキューの同期

デバイス障害の検出および通知

リンクステータス、フェイルオーバー、冗長インターフェースサポート

その他の先進機能

外部ストレージの利用も可能な、ポリシーベースのメールアーカイブ
 - Exchange ジャーナルによるアーカイブ対応

包括的な暗号化サポート：

- サーバー間 TLS
 - クライアントレスの ID ベース暗号
 - S / MIME

先進の E メールサーバー機能セット：

- 包括的な Web メールインターフェース
 - POP3（S）、IMAP（S）メールアクセス
 - カレンダー機能
 - 送信の取り消し

SAML 2.0 SSO / ADFS 統合による Web メールおよび隔離アクセス

先進の MSSP 機能：

- システムワイドのりブランディング
 - マルチテナントとマスコプロビジョニング
 - 階層的な委任管路与ルールベース制御

サポート

包括的なバンドルサービスによるシンプルなサポートオプション

高度な RMA サポート

プロフェッショナルサービスおよびインストールサポートオプション

技術仕様

	FortiMail 200E	FortiMail 200F	FortiMail 400E
推奨される導入環境	小規模の企業、支社、組織	小規模の企業、支社、組織	中小規模の組織
ハードウェア仕様			
10 / 100 / 1000インタフェース (銅、RJ45)	4	4	4
SFP GbEインタフェース	0	0	0
SFP+ 10 GbEインタフェース	0	0	0
冗長ホットスワップ対応電源	—	—	—
内蔵ストレージ	1 x 1TB	1 x 1TB	2 x 1 TB
RAIDストレージ管理	—	—	ソフトウェア : 0、1
形状	1 U	1 U	1 U
電源	単一	単一	単一 (オプションで冗長化可能)
システム性能			
保護Eメールドメイン数*	20	20	100
受信者ベースのポリシー数 (ドメイン / システム)、送信または受信	60 / 300	60 / 300	400 / 1,500
メールボックス数 (サーバーモード)	150	150	400
アンチスパム、アンチウイルス、認証、コンテンツプロファイル数 (ドメイン / システム)	50 / 60	50 / 60	50 / 200
パフォーマンス (メッセージ数/時 : 100 KBのメッセージサイズに基づく、キューイングがない場合)			
メールルーティング (時間あたり) **	50 K	50 K	250 K
FortiGuard Antispam + Virus Outbreak (メッセージ / 時) **	40 K	40 K	200 K
FortiGuard Enterprise ATP (メッセージ / 時) **	30 K	30 K	150 K
サイズ			
高さ x 幅 x 奥行	45 x 433 x 352 mm	44 x 438 x 422 mm	44 x 438 x 416 mm
重量	6.1 kg	5.4 kg	11.0 kg
動作環境			
電源	90 ~ 240 V AC、50 ~ 60 Hz	100 ~ 240 V AC、50 ~ 60 Hz	100 ~ 240 V AC、50 ~ 60 Hz
電流 (最大)	100 V / 4 A、240 V / 2 A	100 V / 3 A、240 V / 1.5 A	100 V / 5 A、240 V / 3 A
必要電源 (最大)	72 W	62 W	132 W
消費電力 (平均)	60 W	51 W	103 W
放熱	280 BTU/h	245 BTU/h	482 BTU/h
湿度	5 ~ 90% (結露しないこと)	5 ~ 90% (結露しないこと)	5 ~ 90% (結露しないこと)
動作温度	0 ~ 40 °C	0 ~ 40 °C	0 ~ 40 °C
保管温度	-25 ~ 70 °C	-20 ~ 70 °C	-25 ~ 75 °C
準拠規格			
	FCC Part 15 Class A、C-Tick、VCCI、CE、UL/cUL、CB、BSMI、RoHS	FCC Part 15 Class A、C-Tick、VCCI、CE、UL/cUL、CB、BSMI、RoHS	FCC Part 15 Class A、C-Tick、VCCI、CE、RoHS
認定			
	VB Spam、VB100、Common Criteria NDPP、FIPS 140-2	VB Spam、VB100、Common Criteria NDPP、FIPS 140-2	VB Spam、VB100、Common Criteria NDPP、FIPS 140-2

* 保護 E メールドメイン数は、アプライアンス上で構成・管理可能な E メールドメインの総数です。ドメインアソシエーションを利用することで、割当て先のプライマリドメインと構成を共有する追加のドメインを有効にすることが可能です。

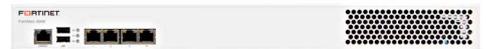
** FortiMail 6.0 で検証済



FortiMail 200E



FortiMail 200F



FortiMail 400E

技術仕様

	FortiMail 400F	FortiMail 900F	FortiMail 1000D
推奨される導入環境	中小規模の組織	中規模から大規模企業、 教育機関および政府機関の各部門	中規模から大規模企業、 教育機関および政府機関の各部門
ハードウェア仕様			
10 / 100 / 1000インタフェース (カバー、RJ45)	4	4	6
SFP GbEインタフェース	0	2	2
SFP+ 10 GbEインタフェース	0	0	0
冗長ホットスワップ対応電源	—	○	○
内蔵ストレージ	2 x 1 TB	2 x 2 TB	2 x 2 TB (2 x 2 TB 追加可)
RAIDストレージ管理	ソフトウェア : 0、1	ハードウェア : 0、1、5、10、ホットスベア	ハードウェア : 1、5、10ホットスベア (ドライブの台数に基づく)
形状	1 U	1 U	2 U
電源	単一 (オプションで冗長化可能)	冗長	冗長
システム性能			
保護Eメールドメイン数*	100	800	800
受信者ベースのポリシー数 (ドメイン/システム)、送信または受信	400 / 1,500	800 / 3,000	800 / 3,000
メールボックス数 (サーバーモード)	400	1,500	1,500
アンチスパム、アンチウイルス、認証、コンテンツプロファイル数 (ドメイン/システム)	50 / 200	50 / 400	50 / 400
パフォーマンス (メッセージ数/時 : 100 KBのメッセージサイズに基づく、キューイングがない場合)			
メールルーティング (時間あたり) **	250 K	800 K	800 K
FortiGuard Antispam + Virus Outbreak (メッセージ/時) **	200 K	500 K	500 K
FortiGuard Enterprise ATP (メッセージ/時) **	150 K	400 K	400 K
サイズ			
高さ x 幅 x 奥行	44 x 438 x 416 mm	44 x 438 x 701 mm	88 x 438 x 368 mm
重量	11.0 kg	15.00 kg	12.52 kg
動作環境			
電源	100 ~ 240 V AC、50 ~ 60 Hz	100 ~ 240 V AC、50 ~ 60 Hz	100 ~ 240 V AC、50 ~ 60 Hz
電流 (最大)	100 V / 5 A、240 V / 3 A	100 V / 5 A、240 V / 2.5 A	100 V / 5 A、240 V / 3 A
必要電源 (最大)	113 W	190 W	138 W
消費電力 (平均)	77 W	174 W	115 W
放熱	418 BTU/h	681 BTU/h	471 BTU/h
湿度	5 ~ 90% (結露しないこと)	5 ~ 90% (結露しないこと)	5 ~ 95% (結露しないこと)
動作温度	0 ~ 40 °C	0 ~ 40 °C	0 ~ 40 °C
保管温度	-20 ~ 70 °C	-20 ~ 70 °C	-25 ~ 70 °C
準拠規格	FCC Part 15 Class A、C-Tick、VCCI、 CE、UL/cUL、CB、BSMI、RoHS	FCC Part 15 Class A、C-Tick、VCCI、 CE、UL/cUL、CB、BSMI、RoHS	FCC Part 15 Class A、C-Tick、VCCI、 CE、UL/cUL、CB、BSMI、RoHS
認定	VB Spam、VB100、 Common Criteria NDPP、FIPS 140-2	VB Spam、VB100、 Common Criteria NDPP、FIPS 140-2	VB Spam、VB100、 Common Criteria NDPP、FIPS 140-2

* 保護 E メールドメイン数は、アプライアンス上で構成・管理可能な E メールドメインの総数です。ドメインアソシエーションを利用することで、割当て先のプライマリドメインと構成を共有する追加のドメインを有効にすることが可能です。

** FortiMail 6.0 で検証済



FortiMail 400F



FortiMail 900F



FortiMail 1000D

技術仕様

	FortiMail 2000E	FortiMail 3000E	FortiMail 3200E
推奨される導入環境	大規模企業、教育機関および政府機関の各部門	最大レベルの規模の大学、企業、ISP、通信キャリア向けのハイエンドアプライアンス	
ハードウェア仕様			
10 / 100 / 1000 インタフェース (コッパー、RJ45)	4	4	4
SFP GbE インタフェース	2	2	2
SFP+ 10 GbE インタフェース	0	0	2
冗長ホットスワップ対応電源	○	○	○
内蔵ストレージ	2 x 2 TB (6 x 2 TB 追加可)	2 x 2 TB SAS (10 x 2 TB 追加可)	2 x 2 TB (10 x 2 TB 追加可)
RAID ストレージ管理	ハードウェア: 1、5、10、50 ホットスベア (ドライブの台数に基づく)	ハードウェア: 1、5、10、50 ホットスベア (ドライブの台数に基づく)	ハードウェア: 1、5、10、50 ホットスベア (ドライブの台数に基づく)
形状	2 U	2 U	2 U
電源	冗長	冗長	冗長
システム性能			
保護 E メールドメイン数*	800	2,000	2,000
受信者ベースのポリシー数 (ドメイン / システム)、送信または受信	800 / 3,000	1,500 / 7,500	1,500 / 7,500
メールボックス数 (サーバーモード)	2,000	3,000	3,000
アンチスパム、アンチウイルス、認証、コンテンツプロファイル数 (ドメイン / システム)	50 / 400	50 / 600	50 / 600
パフォーマンス (メッセージ数 / 時: 100 KB のメッセージサイズに基づく、キューイングがない場合)			
メールルーティング (時間あたり) **	1.5 M	2.5 M	3.4 M
FortiGuard Antispam + Virus Outbreak (メッセージ / 時) **	1.0 M	1.8 M	2.4 M
FortiGuard Enterprise ATP (メッセージ / 時) **	700 K	1.5 M	2.0 M
サイズ			
高さ x 幅 x 奥行	89 x 437 x 647 mm	89 x 437 x 647 mm	89 x 437 x 647 mm
重量	14.5 kg	18.2 kg	18.2 kg
動作環境			
電源	100 ~ 240 V AC、50 ~ 60 Hz	100 ~ 240 V AC、50 ~ 60 Hz	100 ~ 240 V AC、50 ~ 60 Hz
電流 (最大)	10.0 A / 110 V、3.5 A / 240 V	9.8 A / 110 V、4.9 A / 220 V	9.8 A / 110 V、4.9 A / 220 V
必要電源 (最大)	219 W	379 W	382 W
消費電力 (平均)	189 W	348 W	351 W
放熱	781 BTU/h	1,325 BTU/h	1,336 BTU/h
湿度	8 ~ 90% (結露しないこと)	8 ~ 90% (結露しないこと)	8 ~ 90% (結露しないこと)
動作温度	5 ~ 35 °C	10 ~ 35 °C	10 ~ 35 °C
保管温度	-40 ~ 60 °C	-40 ~ 70 °C	-40 ~ 70 °C
準拠規格	FCC Part 15 Class A、C-Tick、VCCI、CE、UL / cUL、CB、BSMI、RoHS	FCC Part 15 Class A、C-Tick、VCCI、CE、UL / cUL、CB、BSMI、RoHS	FCC Part 15 Class A、C-Tick、VCCI、CE、UL / cUL、CB、BSMI、RoHS
認定	VB Spam、VB100、Common Criteria NDPP、FIPS 140-2	VB Spam、VB100、Common Criteria NDPP、FIPS 140-2	VB Spam、VB100、Common Criteria NDPP、FIPS 140-2

* 保護 E メールドメイン数は、アプライアンス上で構成・管理可能な E メールドメインの総数です。ドメインアソシエーションを利用することで、割当て先のプライマリドメインと構成を共有する追加のドメインを有効にすることが可能です。

** FortiMail 6.0 で検証済



FortiMail 2000E



FortiMail 3000E / 3200E

技術仕様

FortiMail 仮想アプライアンスの技術仕様	VM00	VM01	VM02	VM04	VM08	VM16	VM32
推奨される導入環境*	デモ、テスト、トレーニング	小規模企業、支社、組織	中小規模企業	中規模から大規模企業	大規模エンタープライズ	大規模エンタープライズ	大規模エンタープライズ
技術仕様	VMware ESXi 5.0 / 5.1 / 5.5 / 6.0 / 6.5, Citrix / OpenSource XenServer 5.6 SP2 / 6.0以降、Microsoft Hyper-V 2008 R2 / 2012 / 2012 R2 / 2016, KVM (qemu 0.12.1以降)、AWS (Amazon Web Services)、Microsoft Azure ****						
サポートするハイパーバイザー	VMware ESXi 5.0 / 5.1 / 5.5 / 6.0 / 6.5, Citrix / OpenSource XenServer 5.6 SP2 / 6.0以降、Microsoft Hyper-V 2008 R2 / 2012 / 2012 R2 / 2016, KVM (qemu 0.12.1以降)、AWS (Amazon Web Services)、Microsoft Azure ****						
仮想CPU数 (最大)	1	1	2	4	8	16	32
仮想NIC数 (最小 / 最大)	1 / 4	1 / 4	1 / 4	1 / 6	1 / 6	1 / 6	1 / 6
仮想ストレージ容量 (最小 / 最大)	50 GB / 1 TB	50 GB / 1 TB	50 GB / 2 TB	50 GB / 4 TB	50 GB / 8 TB	50 GB / 12 TB	50 GB / 24 TB
メモリ (最小 / 最大)	2 GB / 2 GB	2 GB / 4 GB	2 GB / 8 GB	4 GB / 16 GB	4 GB / 64 GB	4 GB / 128 GB	4 GB / 128 GB
パフォーマンス (メッセージ数/時: 100 KBのメッセージサイズに基づく、キューイングがない場合)**							
メールトランザクション数	3.6 K	34 K	67 K	306 K	675 K	875 K	1.2 M
FortiGuardアンチスパム	3.1 K	30 K	54 K	279 K	630 K	817 K	1.1 M
FortiGuardアンチスパム+アンチウイルス	2.7 K	26 K	52 K	225 K	585 K	758 K	1.0 M
システム性能							
管理ドメイン数 ***	2	20	100	800	1,000	2,000	2,000
受信者ベースのポリシー数 (ドメイン / システム)、送信または受信	15 / 30	60 / 300	400 / 1,500	800 / 3,000	800 / 3,000	1,500 / 7,500	1,500 / 7,500
メールボックス数 (サーバーモード)	50	150	400	1,500	2,000	3,000	3,000
アンチスパム、アンチウイルス、認証、コンテンツプロファイル数 (ドメイン / システム)	10 / 15	50 / 60	50 / 200	50 / 400	50 / 400	50 / 600	50 / 600

* ゲートウェイおよびトランスペアレントな導入向けの推奨ユーザー数。サーバーモードでの導入については、メールボックス数 (サーバーモード) の項目をご参照ください。適切なモデルの選択が難しい場合は、最大メールフローレートおよび平均メッセージサイズをご確認の上、FortiMail製品担当者にご相談ください。

** 記載の数値は2個のIntel Xeon E5-2620 v4 (2.10 GHz) を使用するVMWare 6.0システムで測定されており、実際の数値は割り当てるCPUコア数に依存します。

*** 保護Eメールドメイン数は、アプライアンス上で構成・管理可能なEメールドメインの総数です。ドメインアソシエーションを利用することで、割当て先のプライマリドメインと構成を共有する追加のドメインを有効にすることが可能です。

**** トランスペアレントモードは、利用可能なネットワーク構成の制約のため、Microsoft HyperVおよびクラウドハイパーバイザーでは完全サポートされていません。

FORTINET®

フォーティネットジャパン株式会社

〒106-0032

東京都港区六本木 7-7-7

Tri-Seven Roppongi 9 階

www.fortinet.co.jp/contact

お問い合わせ